

5月定例記者会見資料

平成 27 年 5 月 8 日（金）午前 10 時～
ハイトピア伊賀 5 階 学習室 2

1. 市長からの発表

(1)伊賀上野 NINJA フェスタ 2015 の取り組みについて

春の風物詩となりました、伊賀上野 NINJA フェスタ 2015 は、一昨日の 5 月 6 日をもって終了いたしました。このフェスタの期間中、或いはその前に、出来る限り市外・県外で PR 活動や、テレビ、ラジオ等で情報発信を行ってまいりました。

まず、3 月には、関西圏からの誘客を促進するため、大阪、奈良で NINJA フェスタの事前 PR イベントを行いました。3 月 15 日には、大阪市北区役所と天神橋筋商店連合会等との共同開催による「伊賀上野 NINJA フェスタ in 天神橋筋商店街」において、伊賀市の PR を行ってまいりました。

また三重テレビの他、ラジオでは FM 三重や KBS ラジオなどに出演し、市外県外に向けて NINJA フェスタの情報発信を行いました。

また、NINJA フェスタ期間中は、忍者変身処の他、様々なイベントが行われました。私も忍者衣装をまといまして、フェスタ初日の 4 月 4 日には「ちびっこ忍者ダンスダンス」に参加した後、6ヶ所のまちかど忍者道場を巡りました。

また本年は、NINJA フェスタの初めてのイベントとしまして、4 月 18 日に「伊賀の国コスプレ春の陣 2015」を開催し、43 名の方が参加されました。テーマは、和装オールジャンルで、このイベントのために特別に夜間開放しました伊賀上野城や、伊賀流忍者博物館でのナイト撮影会をお楽しみいただきました。

さて、観光客の状況でございますが、期間中に忍者衣装に変身した方の数は、昨年度より約 20%多い 9,829 人となりました。また、まちかど忍者道場の入場者数、またゴールデンウィーク中の観光施設への入込数ということで、現状で可能な資料を配布いたしておりますので、参考にご覧いただきたいと存じます。

(2)第 1 回伊賀市総合教育会議の開催について

本年 4 月 1 日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、すべての地方公共団体に、地方公共団体の長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置されることとなりました。

当市も、「伊賀市総合教育会議」を設置し、来る 5 月 11 日（月曜日）の午後 3 時から、ハイトピア伊賀 5 階の学習室 2 で、初めての会議を開催いたします。

今まで、地方公共団体の教育にかかる事務の多くは、教育委員会を中心に実施してきましたが、この総合教育会議は、市長、教育委員会という対等な執行機関同士の協議、

調整の場として設置されるもので、より両機関の連携強化を目指すものです。

この会議では、伊賀市の実情に応じた教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定を行うほか、教育を行うための諸条件の整備や児童、生徒等の生命、安全を守るために緊急に講ずべき措置等についての協議、調整を行うこととしています。

また、この会議の結果につきまして、市長である私及び教育委員会の双方に尊重義務が課されることとなります。

この会議は、市長である私が招集する会議であり、報道関係の皆様、また市民の皆様にも原則公開となっています。

初回となる5月11日の会議においては、この会議の持ち方についての協議を行うほか、教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定方法等についての協議を予定しているところです。

今後の会議における協議を通じて、教育と保育行政、生涯学習と地域振興、あるいは、まちづくりと文化保存などの行政事務の連携が、より広い視野で、より円滑に行われ、執行機関一体となった政策推進ができるのではないかと期待しているところであります。

(3) 上野図書館「ナイトライブラリー アクションフォー action IV

～星灯りのもとで～」開催について

5月22日金曜日の午後3時から、上野図書館でナイトライブラリーを開催します。本棚や中庭をライトアップした夜間のイベントです。

このナイトライブラリーは、伊賀市文化都市協会が、普段と違う図書館の利活用を提案しているイベントで、今年で4回目となり毎年多くの方に来場していただいています。

2回目開催時には、私も「朗読のゆうべ」に出演しました。

今年は「星灯り」をテーマに、子どもたちには、ほのかに光る「おりがみ人工衛星づくり」、ミニプラネタリウムや「星灯りのおはなし会」を、大人の方には地元ラジオ番組

のアナウンサー、のがみ みね 野上 峰さんとたぐち ちえこ 田口知恵子さんによる「朗読のゆうべ」で宮沢賢治の代表作『銀河鉄道の夜』の朗読を行います。

「星灯りのおはなし会」と「朗読のゆうべ」は事前に予約が必要ですのでお問い合わせください。

当日は、本の貸し出しはできませんが、温かな灯りと星のきらめきに照らされた図書館の中で自由に読書を楽しむことができます。

また、今年は図書館の駐輪場にキッチンカーによる星灯りカフェを開設し、飲み物やスイーツを販売します。

このナイトライブラリーは、『市民のみなさんが伊賀市にもこんな図書館が毎日あればいいなあ』と思ってもらえる内容です。

これからの伊賀市の図書館像を提案するよい機会だと思い、私からのトークタイムを「朗読のゆうべ」が終わったあと、設けてもらうことにしました。

2階展示コーナーでは、まちづくりの中心となっている図書館の紹介も行なっています

ので、ぜひ、このナイトライブラリーにたくさんの市民の方に来ていただき、賑わいの拠点となる伊賀市の図書館と一緒に考える機会になればと思います。

(4) 電気自動車用急速充電器の設置及び利用開始について（資料No.4）

このたび、本市では電気自動車用急速充電器を「市営白鳳門駐車場」ならびに「道の駅いが駐車場」に各 1 基を設置し、5月25日午前10時より利用を開始いたします。この充電器は、地球温暖化の防止及び自動車の排気ガスによる大気汚染の低減を図るため、電気自動車の普及を図っており、経済産業省の「次世代自動車インフラ促進事業」を活用して設置いたしました。この充電器は、連続的に使用できる定格出力は30キロワットで、充電に要する時間は、約80%充電で30分程度であります。利用につきましては、「市営白鳳門駐車場」ならびに「道の駅いが駐車場」とも24時間利用可能としています。また、市では急速充電器の設置・利用開始に伴いまして、オープニングセレモニーを5月25日の午前9時15分より伊賀市柘植町の「道の駅いが」において行なう予定でございます。地球温暖化対策の一環として電気自動車の普及に貢献するとともに、県内外から多くの利用者が訪れ有効活用していただき、本市の歴史・文化や特産品に触れ合う機会になることを期待しております。

2. 5月の主な行事予定

(1) 第28回余野公園つつじ祭（資料No.5）

日時：5月10日（日）午前10時～

場所：余野公園

問い合わせ先：伊賀支所振興課（45-9111）

(2) ^{いのち}生命の駅伝の開催について（資料No.6）

日時：5月15日（金）午前8時45分出発式 午前9時スタート

場所：上野市駅多目的広場

問い合わせ先：健康推進課（22-9653）

(3) 伊賀市戦没者追悼式（資料No.7）

日時：5月16日（土）午前10時～

場所：伊賀市文化会館さまざまホール

問い合わせ先：医療福祉政策課（26-3940）

(4) 第 28 回青山高原つつじクォーターマラソン大会（資料No.8）

日時：5 月 31 日（日）開会式 午前 10 時～

▼ 3 km 小学生男女

（スタート 10：30）・・・小学生 3 年生以上

▼ 3 km 一般男女

（スタート 10：30）・・・中学生以上

▼ 5 km 一般男女

（スタート 11：00）・・・中学生以上

▼クォーター（10.55km）一般男女

（スタート 11：00）・・・中学生以上

場所：青山高原ロード折り返しコース（開会・閉会式は山頂小屋付近）

問い合わせ先：スポーツ振興課（22-9635）

3. その他

・伊賀市長の資産等の公開について（資料No.9）

期日：5 月 1 8 日（月）～

場所：伊賀市役所情報公開室（上野ふれあいプラザ 2 階）

時間：8 時 3 0 分～1 7 時 1 5 分（土・日曜日、祝日を除く）

問い合わせ先：秘書課（22-9600）原稿

【主な質疑応答】

（記者）NINJA フェスタにおいて観光客が昨年より増加した要因は何ですか。

（観光戦略課）一番の要因としては天候が良かったことと思いますが、大阪や県内での PR の効果でもあるかと考えています。

（記者）観光協会の一歩化された後ですが、観光客の誘致について長谷園やモクモクファームとの連携はしていないのですか。

（市長）連携はとても大事であり今後進めていかないといけない大きな課題であります。

（記者）市長の資産公開資料にある新たに有することとなった資産の「金工 金銅 風招」とはどのようなものですか。

（市長）大きな寺社の建物の屋根の四隅に設置する風鈴のようなもので、歴史的な資料です。

（記者）新たに有した資産の展示はされないのですか。

（市長）残念ながら伊賀市には展示する博物館施設がないために、施設ができればそのような展示もしていきたいです。

（記者）教育委員会改革でどのような変化があったのか。良い点と悪い点を聞かせてく

ださい。

（市長）責任の所在を明確にする改正であり、教育委員会において新教育長が責任を負うものとなります。改正により首長の恣意的な意向が反映されすぎることが問題であるが、制度上そのようなことにはならないと思う。ぜひ手掛けていきたいことは、教育は子どもたちがしっかりと生きていける知識と判断力、集団の中で生きていける力が必要です。それとともに故郷を愛する心がとても大事であります。教育委員としっかりと協議をしてこれから連携をとっていきたい。また、第三土曜日の授業を開始しましたので、その授業において重点的に郷土学習においてフィールドワークなどが必要であります。そして、今後において18歳以上の国民への選挙権の年齢引き下げに伴い、未来の担い手である小中学生にもしっかりとした主権者教育が必要となる。自分たちのまちや国は自ら作るといった意識を持たせるように教育委員会と協議していきたい。

（記者）総合教育会議はなぜ教育委員会部局で担当するのですか。

（市長）本来は市長部局で持つべきであるが、教育委員会においてノウハウを持っているため教育委員会部局において事務局を持っている。将来的には市長部局での実施も検討します。

（記者）新教育委員長制度となつてからどのような変化がありますか。

（市長）教育に対する意見を述べる機会が増えましたので、今後はそれを形にしていくこととなります。

（記者）電気自動車の市内保有台数と、市公用車の購入予定はありますか。また、電気自動車用充電器の設置数や設置場所等について教えてください。

（環境政策課）伊賀市内では本年3月末現在でEV（電気自動車）約70台、PHV（プラグインハイブリッド）で約30台の合計約100台です。充電箇所につきましては、NCS（日本充電サービス）のホームページ上で確認できます。伊賀市においてはNCSでは3箇所あります。小田町のローソン、名阪ドライブイン、メナード青山があり、他には車販売のディーラーにも設置されています。市公用車としての購入予定について現在はありませんが検討していきます。